

NPO 法人チャイルドラインおかやま 2026 年度事業計画

1 事業実施の方針

18歳までの子どもに対して、電話や子どもの要求に合わせた媒体を使って、子どもの声を受けとめ、心に寄り添うことにより、子どもの自立を助ける。また、国連子どもの権利条約によって保障される子どもの権利を実現するための社会基盤づくりに寄与する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 予定日	実施予定 場 所	従事者の 予定人数	受益対象者の範囲 及び予定人数	支出見込 (千円)
チャイルド ライン 運営事業	チャイルドライン 開設時間 16:00～21:00	月・金 土・日	岡山 市内	26	18 歳までの子 ども延べ 5000 人	1,260
	オンラインチャット 開設時間 16:00～21:00					
	電話の受け手ボランティア研修 12 回 ※支援センター担い手養成のための研修事業 (厚生労働省補助金「自殺防止対策事業」)	通年	岡山 市内	7 人	会員	
	子どもへの告知活動 カードを小学校・中 学校・学童保育所・子ども食堂等に配布・ ポスターを県内の学校に配布	通年	県内	8 人	岡山県内の 18 歳までの 子ども	
	ニュースレターの発行年 400 部発行	7 月 12 月	岡山 県内	2 人	会員及び一般	
	WEB サイト運営 ホームページ・Facebook の運営	通年	国内	1 人	一 般	
子どもの声の社 会化を図る事業	2025 年度年次報告発行		岡山 県内	10 人	関係機関及び 市民 5000 部	
子どもの 声を聴く 人材育成 事業	①チャイルドラインから見える子どもたち ②発達に特性を持つ子どもたちの理解 ③子どもとインターネット・メディアの 現状 ④子どもの自殺 ⑤子どもたちの心のサポーターになるため に=子どもの心を聴く=2 回 ⑦子どもたちの心のサポーターになる ために=自分自身の枠を手放す=4 回 ⑩オンラインチャットによる子どもへの 対応=2 回【延12 講座】 令和 8 年度岡山市人権啓発活動補助事業	11 月 ～ 1 月	岡山 市内	8 人	一 般 150 人	806

